

家きん飼養者の皆様へ

国内の家きんで高病原性鳥インフルエンザが発生しています。本病に対する厳重な警戒をお願いします。予防対策として、特に以下の点の点検・確認をお願いします。

(点検・確認事項)

- 野鳥、ねずみなどの野生動物対策として、
 - ・野鳥などの野生動物の家きん舎への侵入を防止することができる防鳥ネットなどの設置とその破損
 - ・家きん舎の扉、壁、屋根、床などの破損や隙間
 - ・集卵コンベアや除糞ベルトと家きん舎の壁の間の隙間など、小型の野生動物が家きん舎の外部から侵入しうる経路がないように、家きん舎の内部及び外部から詳細に点検・修繕してください。

- 野生動物を家きん舎近くに寄せ付けないように、
 - ・死亡家きんを家きん舎内に保管しない
 - ・家きん舎周辺の清掃、整理・整頓（周辺の草刈りなど）
 - ・家きん舎近くまで伸びている樹木の枝の剪定などの対策を行ってください。

- 車両は農場の出入口で入念に消毒し、家きん舎に入る者は、特に手指、衣服及び長靴の消毒を徹底してください。
(消毒などの措置は、例外を作らずに必ず実施する、記帳により習慣付けるといった取組が重要です。)

- これまで以上に念入りに、飼養家きんの毎日の健康観察を行ってください。死亡数が増えた、元気がなくなった、産卵率が低下したといった家きんが増えたなどの異状を見つけた場合には、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

発生予防対策の重要ポイント

農場内に入る車両は、例外なく消毒を実施しているか。



確実な車両消毒の実施



看板やゲートの設置

農場外



壁や床の破損がないか(外の光が漏れている所は要注意)



防鳥ネットの破れがないか

農場内

小型の野生動物が侵入し得る経路がないか。



排水溝等からの侵入防止対策(鉄格子の設置)

家きん舎内に入る人・物(長靴、衣服など)は、例外なく消毒を実施しているか。



家きん舎



踏込消毒槽の設置・消毒液の交換
衣服や長靴の更衣・履替え



野生動物が隠れる場所を作らないように整理された鶏舎周辺



野鳥の休息・避難場所や小動物の移動経路となる樹木や藪がないか



集卵用コンベアや除糞ベルトの開口部の隙間対策。(写真は、稼働時以外はカバーを設置し、隙間をなくしている事例。)



家きん舎周辺は野生動物を寄せ付けないよう、整理・整頓しているか。